

ゴール港開発計画（第一期）【スリランカ】

施策所管局課 国別開発協力第二課

評価年月日 平成 28 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	スリランカ
(2) 案件名	ゴール港開発計画（第一期）
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、 供与条件など を含む	<p>スリランカ国南部地域のゴール港において、多目的ターミナル、防波堤等の港湾整備を行うことにより、取扱貨物量の増加への対応を図り、もって経済社会発展の遅れている南部地域の発展に寄与するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土木工事、資機材調達 ・ コンサルティングサービス <p>ア 閣議決定日：平成 18 年 3 月 24 日 イ 供与限度額：144.95 億円 ウ 金利：0.3% エ 償還（据置）期間：30（10）年 オ 調達条件：日本タイド</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初、インドを中心とした南アジア圏の急激な経済成長を背景として、スリランカ国内の国際港であるコロンボ港において当時の貨物取扱可能量を大幅に超過する貨物需要が見込まれ、同港が担っていた地方向け貨物の取扱の代替及び同国南部地域の輸出入を扱う地方港の整備が急務であった。現在コロンボ港の貨物取扱可能量の増強等により、地方向け貨物の取扱を代替する緊急性は小さくなっている一方で、南部地域の貨物取扱港としての社会的ニーズは引き続き高い。また、先方政府は開発方針を見直し、同港を観光港としての機能も持つ多目的港として開発する方針を表明す</p>

	<p>るなど、同港を開発する社会的ニーズは引き続き存在する。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状 先方政府による当該港湾に係る開発方針の見直しにより、遅延が発生しており、事業期間の延長を余儀なくされている。</p>
<p>(2) 今後の対応方針</p>	<p>本件に関する地方代替港としての緊急性は小さくなっているものの、地域の貨物取扱港及び観光港としての社会的ニーズが高いことから、本港の役割を整理した上で今後の支援を検討していく。</p>
<p>3 政策評価を行う過程において使用した資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html) ・ 国際協力機構の案件検索 (http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・ 国際協力機構の事業事前評価表 (http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html) ・ そのほか国際協力機構から提出された資料